

第2回

じほれん

事保連シンポジウム

大阪大会

2019.

2.24日

パネルディスカッションテーマ

「保育の未来」

13:00~17:00 (12:30開場)

会場：関西大学梅田キャンパス 8F大ホール  
大阪市北区鶴野町1番5号

対象：保育士、保育事業者(保育形態不問)、事業所  
内保育設置者、その他福祉(介護・障害)事業者  
及び従事者

料金：無料 席の都合上、2名以上の場合はご連絡ください。  
交流会参加者のみ1名1,000円(税込)



政策アナリスト  
社会保障経済研究所  
ネプリーグ「漢字王」  
石川 和男 氏



京都大学こころの未来  
研究センター 准教授  
内田 由紀子 氏



経済産業省  
教育産業室長  
浅野 大介 氏



日本社会福祉  
マネジメント学会長  
佐藤 剛 氏

- 12:30 開場
- 13:00 開会の挨拶
- 13:10 第1基調講演 内田由紀子氏  
「保護者の「文化」が子育てに与える影響」(仮)
- 13:50 第2基調講演 浅野大介氏  
「学びと社会が連携した新たな教育」
- 14:30 日本社会福祉マネジメント学会 報告
- 14:40 休憩
- 14:55 パネルディスカッション テーマ「保育の未来」  
社会保障経済研究所 政策アナリスト 石川和男氏  
京都大学こころの未来研究センター 内田由紀子氏  
経済産業省 教育産業室長 浅野大介氏  
日本社会福祉マネジメント学会 佐藤剛氏
- 15:50 閉会の挨拶
- 16:00 パネリストとの交流会

「保育の未来」と題して、第2回事保連シンポジウム大阪大会を開催します。2015年の子育て支援法から、こども園、小規模保育、事業所内保育の拡大に加えて、近年は企業主導型保育所の大幅な拡大など、未就学児童を取り巻く環境はますます多様化しています。さらに、これから始まる幼児教育無償化や入管法改定が社会に与える影響は未知数であり、これからも大きく変化することが予測されます。そのような中で、どのような保育の未来が期待でき、また保育者、事業者、行政が、それぞれの立場で重要だと考えること、また未来をどのように変えていくことができるのかを、産官学それぞれの立場から意見を集約する場として第2回事保連シンポジウム大阪大会を開催します。



WEBでのお申込み

<https://jihoren.org/symposium/>

\*ページ下部、お申込みフォームをご利用ください。

FAXでのお申込み

03-6658-5633

\*以下の項目をご記入の上FAXしてください。送信面をお間違えの無いよう、ご注意ください。



団体名(法人・国名)：

住所：

TEL：

FAX：

E-mail：

参加者名①：

ふりがな：

役職：

交流会  
参加

参加者名②：

ふりがな：

役職：

交流会  
参加